

小学生と AI：安全・安心な使い方のポイント（保護者向け）

（改訂版 2025/2/20）

最近、テレビやネットで「AI（人工知能）」という言葉が耳にする機会が増えています。チャット形式で会話したり、文章を作ってくれたりする AI も登場し、今後、子どもたちの学びや生活に関わる可能性が高まっています。一方で、子どもの年齢や発達段階によっては、AI を使ったいじめや誤情報の拡散、精神的ストレスといったリスクも指摘されています。また、「オープンモデル」と呼ばれる改造版 AI の中には安全フィルタが弱く、不適切な発言をしやすいものもあるため注意が必要です。以下のポイントをご確認いただき、お子さまが**安全かつ有意義に AI を活用**できるようサポートをお願いいたします。

1. AI はあくまで「道具」：丸ごと信用は禁物

- AI は、大量のデータをもとに「それっぽい答え」を返しているだけであり、**必ずしも正しい情報ばかりではありません**。
- 「AI が言っているから絶対正しい」とは限らないことを、お子さまと話し合ってください。
- 特に小学生の場合、自分で十分に事実確認ができないことも多いです。保護者の方が一緒に「ほんとかかな？」と確かめたり、書籍・ネットで再度調べたりする習慣をつけましょう。
- 最近では、**AI がフェイクの画像や文章を作り出す**こともあり得るので、「AI だから安心」という先入観は持たないように注意してください。

2. 自分で考える力を育むために

- AI は宿題や自由研究のヒントを教えてくれることもありますが、**答えをそのまま写すだけだと学びになりません**。
- 「どうしてそう思うの？」「どこがポイントなの？」など、**お子さまと一緒に考える声かけ**をお願いします。
- **フロリダ州の事例**では、AI に過度に依存して思考停止や不安定になる子どものケースが報告されています。AI 任せにせず、**人との対話や自分で考える時間を大切に**しましょう。

3. トラブル防止のために

3-1. いじめ・誹謗中傷

- 子どもが AI を使って友だちの悪口や差別的な文章を生成し、SNS で広める危険があります。
- 「**AI を使っても使わなくても、人を傷つけるような表現はダメ**」というルールを家庭内で話し合ってください。
- 万一、誰かを傷つける表現を AI で作ってしまったり、被害を受けた場合は、すぐに学校や担任に相談を。

3-2. 不適切なコンテンツ・暴力的な提案

- AI が暴力的・自傷をほのめかすようなメッセージを出す事例が海外で報告されています。
- **AI の言葉で不安や恐怖を感じたり、嫌な思いをしたら、必ず大人に相談**していいんだよと、お子さまに伝えてください。

- 「オープンモデル」や改造版の AI は、こうした不適切発言が生じるリスクがより高いことにも注意が必要です。

3-3. 個人情報の取り扱い

- お子さまが、住所や電話番号、顔写真などの**個人情報**を AI に入力しないよう注意してください。
- AI に送信したデータは、サービス提供会社のサーバーに保存される可能性があります。なるべく**実名や学校名なども伏せる**ようアドバイスしましょう。

3-4. 著作権にも気をつけよう

- AI が作った文章や画像でも、もとの作品を無断利用している可能性があり、トラブルになることがあります。
- 学校の課題に使うときは**コピー・ペーストで済ませない**ように注意し、**どこを参考にしたか**をはっきりさせるよう声かけをお願いします。

4. 保護者としての見守りポイント

1. こまめな声かけ・興味共有

- お子さまが AI を使うとき、どんな話題を聞いているか興味をもってみてください。
- 「AI は何て言ってた?」「それで納得できた?」「ほかに調べた?」など、**会話を通じた見守り**が、トラブルの早期発見にもつながります。

2. 使いすぎに注意

- AI は質問すると次々に答えを返すため、使いすぎてしまう子もいます。
- 時間や回数がある程度決め、「宿題が終わるまで AI はお休み」など、**家庭内のルール**をつくるとよいでしょう。
- 依存の兆候（ずっと AI と話して人との会話を避けるなど）が見られたら、学校や専門家へ早めに相談してください。

3. 困ったときは早めに相談を

- AI の返答が不適切だったり、お子さまが心配そうにしている場合は、**担任の先生やスクールカウンセラー**などに早めにご相談を。
- 「AI の言葉だからあまり深刻じゃない」と思わず、お子さまの不安や恐怖をしっかり受け止めてあげることが大切です。

5. 保護者同士・学校との連携

- 学校でも、**生成系 AI の授業活用**や安全管理の指導を検討している場合があります。
- 保護者会や学校からのお便りなどで、**AI 利用に関するルールや方針**をよくご確認ください。
- 家庭内の利用ルールや、トラブル時の相談先を**事前に話し合う**ことで、万一問題が起きたときもスムーズに対応できます。

6. おわりに

AI は、使い方次第で子どもたちの学びや興味を広げる素晴らしいツールとなり得ます。一方で、**誤情報や不適切な内容、いじめへの利用、個人情報の流出**などのリスクが存在することも事実です。

- ご家庭での見守りと安全ルール
- トラブルがあれば学校や専門機関に早めに相談

こうしたポイントを踏まえ、**お子さまが安心して AI を活用できる環境づくり**にご協力をお願い申し上げます。
みなさまのご理解とご支援をいただきながら、学校と保護者の方々が協力して、子どもたちの健やかな成長を見守っていきましょう。

<まとめ>

- **AI の答えをそのまま信じない。必ず他の情報源と比べる。**
- **人を傷つける言葉や個人情報の入力**は絶対 **NG**。
- **お子さまが不安になったら、すぐ大人に相談させる。**

これらを意識しつつ、AI との上手な付き合い方をお子さまと一緒に考えていけると幸いです。